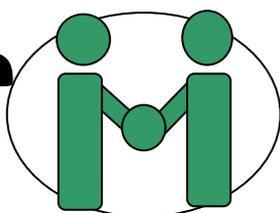


宮川



まちづくり協議会だより 1月号

平成30年12月31日現在

【世帯数】 240戸

【人口】 男：341名

女：355名

合計：696名

発行日：平成31年01月23日

発行：宮川まちづくり協議会



【特集】
訪れる
宮川地区に
新たな年





宮川小学校を卒業した子で今年度新成人となるのは、5人。この日は残念ながら、所用があつて2人しか出席できませんでした。しかし、2人だからといって手を抜く宮川地区ではありません。地区内の権野さんから杵と臼をお借りし、新成人たちと役員たちで、恒例の紅白餅をつきあげました。その後恩師の先生方も交え、澤田会長からスクリーンを使って宮川地区の取り組みを聞いたのち、新成人たちは恩師と思い出話に花を咲かせました。最後は、たくさんの地区の方々からお祝いされ、彼らの心に残る会だったと思います。



前列左から、高鳥万喜子先生、古田智子先生、塚本幹太さん、高井菜摘さん、森徳実先生、松宮雅美先生

平成31年 宮川地区新成人

- 国友 佑真さん (本保)
- 高井 菜摘さん (大戸)
- 玉山 統悟さん (新保)
- 塚本 幹太さん (大谷)
- 増田 駿さん (新保)



恩師の先生方と

新 年 の



宮川地区区長会長
杉村 佳昭

あけましておめでとうございます。
宮川地区の皆様におかれましては、平成三十一年の新春をご家族お揃いで晴れやかに迎えにいられたことと、心よりお喜び申し上げます。また、昨年中は地区の行事にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は二十号、二十一号と立て続けに台風が襲い、二十一号では電柱の倒壊により地区内が長時間停電になるとともに、各所で倒木など暴風による被害が発生しました。地域の防災力を高める活動の重要性を改めて痛感させられた年であったと思います。

今年も平成を締めくくるとともに、五月には新天皇が即位され、新元号のもと新しい時代を迎える、大変おめでたい年であります。このおめでたい年が、宮川地区ならびに宮川地区民の皆様にとりましても、明るい実り多き一年となりますよう祈念申し上げます。

なお、本年も昨年同様、宮川地区のさらなる発展に向け、地区民の皆様方のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新成人に

聴きました



成人になった今、
宮川について思うこと。



長男だったので、特に
何の疑問も持たず、宮
川に残ろうと思った。

小学生の時は当たり前だと思っていたが、大きくなって、県外人と話
して初めて、自分たちが受けていた小学校教育が貴重なものだったと
知った。田植えや稲刈り体験やふるさと学習など、その子たちの小学
校ではやっていなかった。

大学へ行くときは、福井を出ようと思って
いたけれど、今は正直、福井で就職しよう
か県外でしょうか本当に迷っている。

仕事場に宮川の人がお客さんとしてきてくれて、自
分に気さくに話しかけてくれる。他のお客さんとは
明らかに違う。そういうところありがたい。

宮川は住みやすい。

草刈りや役員など、

大変なところも含めてそれが「宮川」だと思っている。

確かに宮川は不便で困るところもあるけれど、

だからといってそれだけのことが宮川を出ていく理由にはならない。

今、学生として暮らしている
町は、やはりここより人が冷
たい。宮川の人**は温かい。**

もし福井県に帰ってきて、結婚して子どもが生まれ
たら、やはり親の近く、宮川に住みたいと思う。

社会に出てから、宮川の良さに気付いた。

結局、自分たちにこういう「新成人の
集い」のような催しをしてくれるの
も、宮川地区だからこそ。

ご

挨拶

授



宮川地区
まちづくり協議会
会長 澤田 康夫

まして、新年の挨拶とさせていただきます。

区民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたし
進めていきたいと思えます。

イノシシの様に突進とはいきませんが、区
民の皆様のご理解とご支援をいただきながら
を始めるに相応しい年になりそうです。

今年、準備が整った「創生事業」を本格的に始
動させていく年となります。何か新しいこと
が、一番の出来事でした。

今年、新年号が始まります。統一地方選
挙、参議院選挙もあり、今後を託す代弁者を選
ぶ大事な年です。まちづくり協議会としまし
ては、準備が整った「創生事業」を本格的に始
動させていく年となります。何か新しいこと
が、一番の出来事でした。

昨年、何と言いましても、総務省の助成事
業をいただき、「まほろばの里 若狭みやがわ
創生事業（以下、「創生事業」）を始動できた
ことが一番の出来事でした。

昨年、何と言いましても、総務省の助成事
業をいただき、「まほろばの里 若狭みやがわ
創生事業（以下、「創生事業」）を始動できた
ことが一番の出来事でした。

昨年、何と言いましても、総務省の助成事
業をいただき、「まほろばの里 若狭みやがわ
創生事業（以下、「創生事業」）を始動できた
ことが一番の出来事でした。

西暦 2019 年、平成三十一年、明けましてお
めでどうございませす。

1月12日
年賀会

今年は同日に他の行事が重なったため、例年より少ない人数となりました。しかし、出席された各種団体役員さんたちは1年の頑張りを労い合い、終始陽気にぎやか。ご来賓として出席された松崎市長、東副市長、中川県会議員、西本県会議員、垣本市議会議員からは年賀の挨拶をいただきました。

準備から片付けまで手伝ってくださった区長会・代理区長さんたち、そして公民館運営審議委員とまちづくり協議会のみなさん、ありがとうございました。



後片付けをしてくれる区長さんと区長代理さん



地区内の清水正彦さんが、公民館長が種から育てた葉ボタンを使って門松を作ってくれました。公民館の玄関が、ものすごく華やかになりました。



1月13日 小浜市成人式が執り行われました。



地区内イルミネーションも、お正月バージョンに。





総務省過疎地域等支援事業 まほろばの里 “若狭みやがわ創生”事業

宮川で鳳足焼をつくらう

「空いた時間にちょっと作ってみようかな。」 そう思った時に近くでできる場所を宮川につくりたい。

それが、ひいては地元産鳳足石の活用にもなり、地元を地区外にPRすることにも繋がっていけば…

今回は、購入した機械が宮川に届くまでに一足早く、パレア若狭で2回に分けて体験しました。



土台に縁となる土を
まいていく

12/16



ヘラで内側・外側をなめらかに



思ったより難しかったが、
参加者全員楽しんでた。
子どもも土いじりをして楽
しめるので、いいと思う。



まちづくり協議会
副会長 谷川治一さん



口縁を切り出す



鹿の革で口縁を整える

12/23



ろくろから
切り離す



鳳足石は、釉薬としての
成分含有比率がすばらしい



清水 和也先生



高台となる場所に
印を付け、胴を削る



高台際を削る

高台内も削る



素焼き前まで完成です！

ほかに、宮川地区でこんなことがありました

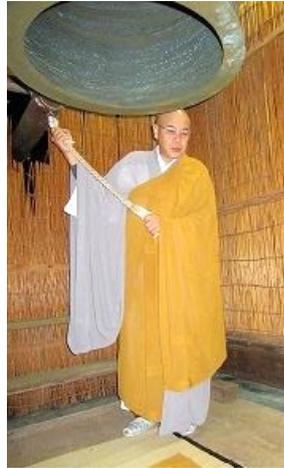
今年も
よろしく願います

12月15日(土)
老人クラブ奉仕作業



女性陣は公民館周辺の掃除を、男性陣は雪吊作業をしてくれました。これで本格的な冬を迎えられます。

12月31日(月)
龍泉寺 除夜の鐘



新保・大谷・竹長区の人たちが、鐘を撞きに集まりました。



公民館運営審議委員長
竹中 忠さん

1月12日(土)
新保区 戸祝い



まんめでどうあん

お知らせ

編集後記

1年の間に、みなさんそれぞれ様々なことがあります。諸役務めていらっしゃる、尚のこと。12月31日からたった1日日付が変わっただけですが、新年を迎えると卵の殻が剥けたように気持ちがツルっとして、「よ～し、また1年頑張ろう！」という気持ちになります。日本人がもっているこういう「禊ぎ」・「水に流す」の文化が、私はとても好きです。Y

2月の行事予定

- 7・21(木) 小浜病院巡回診療日
(14:00～、宮川公民館)
- 8(金) なわとび大会(宮川小学校)
- 12(火) すくすく広場(宮川保育園)
- 19(火) 100歳体操
(10:30～、宮川公民館)

2月の休館日

- 4(月)、11(月)、
- 12(火・振替休館日)
- 17(第3日曜)、
- 18(月)、25(月)



オイケモノ神事
2月20日(水)
場所:加茂神社

注目



平成31年

今年もよろしく願います